

刊行から9年経った今も、学ぶべきことの多い一冊

注文番号

13340

『戦争が遺したもの 鶴見俊輔に戦後世代が聞く』

鶴見俊輔・上野千鶴子・小熊英二 著 新曜社(2004年/8刷)



◀1930～40年代、
アメリカ留学時
代の鶴見俊輔。

戦争が遺したもの

鶴見俊輔・上野千鶴子・小熊英二
著



新曜社

初版が2004年とはうかつだった。本書は9年前、「知の巨人」鶴見氏が、戦後世代の2人に問われるままに、3日3晩自在に語った記録だ。鶴見俊輔の過去の発言との重複(母親によるトラウマなど)もあるが、焦点を戦争と戦後に絞ったことで、新しい発見も多々ある。初日の「生い立ち」から始まって、2日目、3日目では、戦中・戦後の自分自身や日本社会の思想的展開、関わった人びとや秘話のようなコメントまで多彩だ。とくに「思想の科学」や「ベ平連」の登場する後半が興味深かった。主たるインタビュアーの小熊英二の知識の該博さ、少し「大人」の雰囲気の上野千鶴子のフォローやこだわりも含め、当代一級の知識人の上質な会話録だ。(鳶)

(195×135^{mm})
上製 403頁)

本体 2,800円を

2,520円
(税込 2,646円)